

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域産木材利用と木育による廃校小学校新生事業
事業主体 (連絡先)	中川小学校廃校新生推進協議会 〒390-0315 長野県松本市岡田町 630-6 Tel : 080-8041-7937
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業 (6)産業振興、雇用拡大に関する事業(オ)
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,759,720 円 (うち支援金 : 1,146,000 円)

事業内容

- ・廃校の活用、新生利用として、地域木材を使用した木育施設及び野外体験施設を導入して、その運営管理を地元スタッフで行う事を目的とし実施しました。
- ・子どもの情操教育、木への愛着やリレーションが得られる木工玩具による、おもちゃの楽校を設置し、木に触れることによる、子どもの情操教育、木への愛着やリレーションが得られるウッドチップボールを合わせて設置しました。
- ・野外体験プログラムにチームビルディングの導入を目的とした体験施設を導入しました。(一本橋、バランスボード、クロスアイランド)
- ・野外体験指導者の講習会を行いました。
- ・おもちゃの楽校の開設イベントを実施しました。



【野外体験指導者講習会】

【目標・ねらい】

- ① 子どもの情操教育、健全育成
- ② 母親の元気づくり
- ③ 廃校の活用
- ④ 地域の活性化

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ・おもちゃの楽校：乳幼児の情操教育のツールとして極めて有効な施設と思います。
- ・チームビルディングは、子どもから大人まで、企業やスポーツのチーム力アップに大変有効な手法です。
- ・運営管理者を常設して、地域住民の雇用を行います。育児中の親子に好評で、リピーターが見込まれますが、
- ・首都圏からの集客により、観光、宿泊、な地域の活性化の一翼を担います。

※自己評価【C】

【理由】①おもちゃの楽校が、11月完成でPR不足と冬季集客が出来ず、26年度目標50人に及びませんでした。②講師、会場の確保が出来ず研修会、講演会が実施出来ませんでした。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・おもちゃの楽校：子どもプラザ、児童館、幼稚園、保育園など、乳幼児を中心とした子どもの集まる施設へのPR強化と、出張展示等により集客強化を行います。
- ・チームビルディング：都会への情報発信、集客のPR強化と、夏休みのキャンプや、講習会などを開設して、施設の稼働率を上げます。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
- 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある